昭 和五十七年閉寮記念寮歌

早まながり 小ぉ 川ぉゎ にいき 0 道が 駆け る延齢の花は し我な

今この時とき はるか千嶂仰ぎ見ん の静庵ここにあり の憧憬に

明日の旅路を想いなん我が夢馳せし夕暮れに

清tt 雅が 我れ 等ら 正義の道を貫かん 熱き 涙 のほとばしり 今咲きそろううす影のリラ 陵ゥ には にして無限なれ が誇る自治の魂 ゆる星よりも

の夏歩む我

盃がずき

かわす寮友と

か 我かれ

げ

我ゎ が を存送さ北都になるとおします。 の絆永遠に にも

我等が道

の しる

な

ŋ

過ごせし日

々の感激よ

原がぬし の森に先人の の中に立て Ū

植 末 田 貴昭 厚 司 君 君 作 作 Ж 歌